

高冷地における熟期の異なる水稻品種の種子生産体系

高冷地においては晩生の水稻品種「ユメヒカリ」を4月下旬から5月下旬に移植すれば良質な種子を生産できる。さらに、「きらり宮崎」(極早生)を5月上旬、「コシヒカリ」(極早生)、「ヒノヒカリ」(中生)、「ユメヒカリ」を5月下旬に移植することで、同一地域での多品種生産が可能である。

農業研究センター 農産園芸研究所 作物研究室 矢部試験地 (担当者: 柴 誠三郎)

研究のねらい

水稻の種子生産現場では、種子更新率の向上により作付面積が増加しているが、一方で採種農家の高齢化や労力不足が顕著になっている。このため、種子生産は、現在の一地域少数品種生産から多品種生産への移行が望まれているが、異品種の混入を防止するための種子共同乾燥調製施設における清掃作業等により、品種の切り替え時期を一週間以上開ける必要がある。

そこで、熊本県の種子生産の一拠点である高冷地において、これまで取り組みのなかった晩生品種「ユメヒカリ」の導入を図るとともに、同地域の種子共同乾燥調製施設で多数品種の種子生産を可能とする移植時期を明らかにする。

研究の成果

1. 「きらり宮崎」は「コシヒカリ」より出穂が1～4日早く、成熟期が同等ないし3～4日程度早い。5月上旬～6月上旬に移植すれば、収量が安定し、良質種子が生産できる(表1)。
2. 「コシヒカリ」と「ヒノヒカリ」は、いずれも4月下旬～6月上旬に移植すれば、収量が安定し、良質種子が生産できる(表2、表3)。
3. 「ユメヒカリ」は「ヒノヒカリ」より出穂が8日程度遅く、成熟期は10日～19日遅い。4月下旬～5月下旬に移植すれば、収量が安定し、良質種子が生産できる(表4)。
4. 以上のことから、移植期を「きらり宮崎」で5月上旬、「コシヒカリ」で5月下旬、「ヒノヒカリ」で5月下旬、「ユメヒカリ」で5月下旬とすれば、成熟期間差をそれぞれ1週間以上確保しながら、収量を確保した良質種子の生産ができる(表5)。

普及上の留意点

1. 高冷地の水稻種子生産現場における参考資料として活用できる。

[具体的データ]

表1 「きらり宮崎」

移植期	出穂期	成熟期	種子収量 (kg/a)	種子品質	発芽率	総合評価
4月26日	7月12日	8月22日	39.0		97.5	×
5月9日	7月19日	8月26日	60.7		99.3	
5月24日	7月27日	9月5日	56.6		98.8	
6月6日	8月9日	9月22日	59.4		99.0	

表2 「コシヒカリ」

移植期	出穂期	成熟期	種子収量 (kg/a)	種子品質	発芽率	総合評価
4月26日	7月15日	8月25日	40.5		97.5	
5月9日	7月23日	8月30日	47.7		99.3	
5月24日	7月30日	9月9日	55.2		97.8	
6月6日	8月10日	9月22日	56.9		97.0	

表3 「ヒノヒカリ」

移植期	出穂期	成熟期	種子収量 (kg/a)	種子品質	発芽率	総合評価
4月26日	7月29日	9月18日	46.8		92.5	
5月9日	8月11日	9月27日	66.4		95.3	
5月24日	8月18日	10月6日	65.3		95.5	
6月6日	8月25日	10月17日	70.5		98.5	

表4 「ユメヒカリ」

移植期	出穂期	成熟期	種子収量 (kg/a)	種子品質	発芽率	総合評価
4月26日	8月5日	10月1日	47.5		100.0	
5月9日	8月19日	10月10日	63.5		98.3	
5月24日	8月25日	10月16日	64.1		99.0	
6月6日	9月3日	11月5日	74.0		99.0	×

注)1 4月下旬移植はH14年、5月上旬、下旬はH14～15年の平均、6月上旬はH15年

注)2 種子収量は2.2mm篩選(ユメヒカリは2.1mm篩選)、種子品質は九州農政局食糧部検査による合格種子

注)3 総合評価は成熟期10月末まで(11月初旬に降霜)、種子収量40kg/a以上で、種子品質・発芽率(90%以上)が合格

表5 高冷地で一地域多品種の種子生産をするための移植適期と収穫適期

(月)	4		5				6				7				8				9				10									
(半月)	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
きらり宮崎	←————→												←————→																			
コシヒカリ	←————→												←————→																			
ヒノヒカリ	←————→																		←————→													
ユメヒカリ	←————→																		←————→													

注)1 移植期は←→、収穫期は←→

注)2 は多品種種子生産のための移植適期と収穫適期